

# 地域のストーリーの生成を通じて知識の伝達を促進する多階層連携システムの研究開発

## —ICTを活用した農村コミュニティ再建手法—

### 研究メンバー

京都大学大学院地球環境学堂：○星野 敏、橋本 禅

エクセリード・テクノロジー社：沼田秀穂、池田佳代、鬼塚健一郎

### 研究協力者

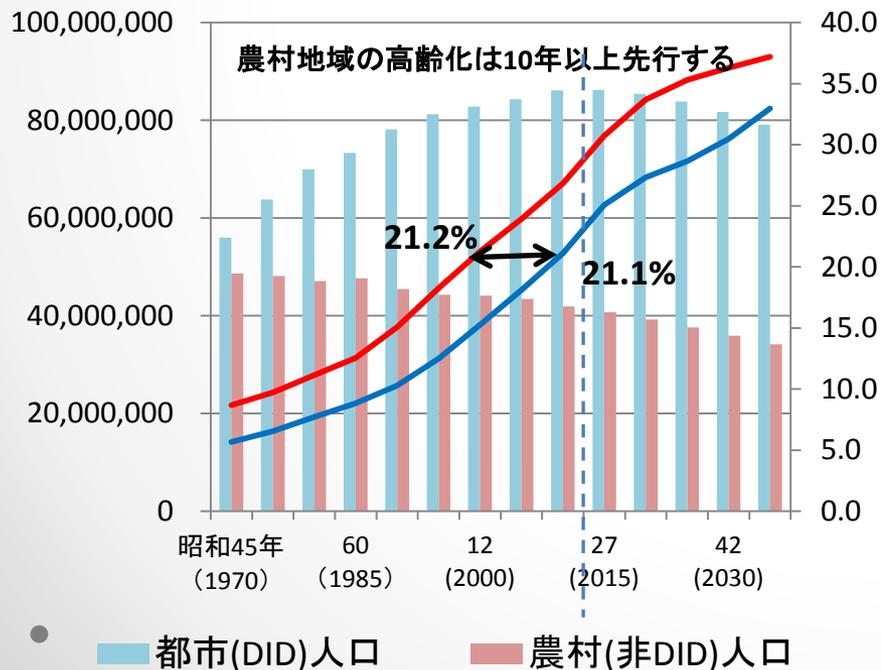
京都大学大学院：中村省吾、萩原 和、江藤彬史、包サリナ、永草達海

京都大学森里海連環学教育ユニット：清水夏樹

○：研究代表者、アンダーライン：コアメンバー

# 農村コミュニティの持続性の危機

- 国土形成計画(2008)の戦略目標は「持続可能な地域の形成」
  - 農村地域がもはや持続可能な社会でないことの裏返し
- 農村コミュニティの機能低下による共同活動の後退
  - 共同活動：集落行事の継続、お宮・集会所・道路・水路などの維持管理・草刈、共有林の管理など→農村コミュニティ（自治会など）の機能低下により継続できない
- 中山間地域では限界集落が急増
  - 限界集落：65才以上の人口割合が50%を越え、かつ社会的共同活動に支障が出る集落



拡大する耕作放棄地

# SCOPEプロジェクトの課題

背景：過疎化・高齢化やグローバル化→地場産業や農村コミュニティの衰退⇒**地域単独での課題解決は困難**

地域内外の多様な主体が結集し、協働するための「場」が必要

課題名：「地域のストーリーの生成を通じて知識の伝達を促進する多階層連携システムの研究開発」

目的：農山村地域の隠れた魅力を掘り起こし、地域内外の多様な主体間で共有することで、**知識と情報の対流を引きおこす新たな場を構築**し、農村地域のコミュニティを再建する



## 3つの課題

- ① 農村集落へのICT(地域SNS)の普及と啓発
- ② 多階層(小地域・広域・グローバル)連携システムの開発
- ③ ICTを活用したコミュニティ再建手法の開発

# 対象地域について

- 京都府農林水産部農村振興課からの助言をもとに府内の**3地域**を選定

- ① 集落・旧村程度の小地域
- ② インターネット環境が整備された地域
- ③ 地域活性化事業の実施経験あり（活性化の取り組みに意欲的）

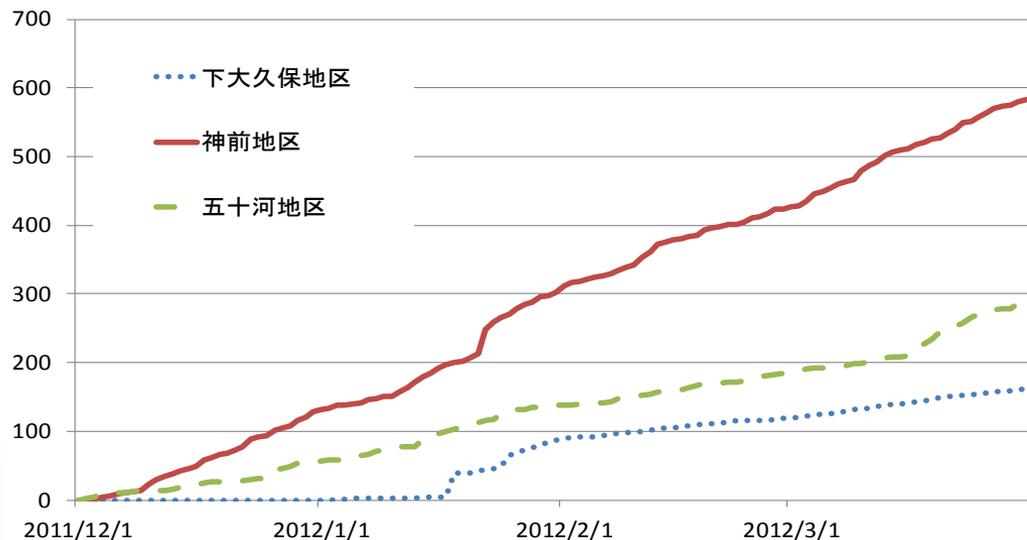
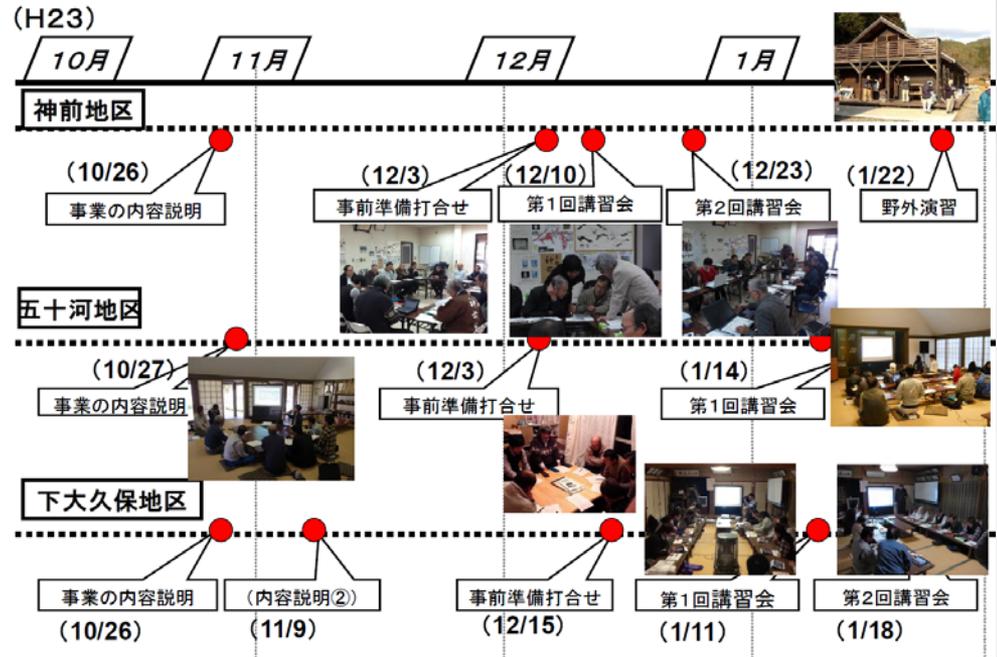


地域名	人口/世帯数	高齢化率(%)	従前の事業経験
京丹波町 下大久保地区	77世帯/197人	34%	ふるさと共援活動支援事業
亀岡市 神前地区	198世帯/591人	30~40%	京都モデルフォレスト運動事業
京丹後市 五十河地区	193世帯/521人	41%	共に育む命の里事業

# 農村集落への地域SNSの普及

- プロジェクトの説明会
  - 2011年12月以降、各地区で講習会を開催（3～4回/地区）
  - 教える内容は、iPadの操作法とFacebookの閲覧・投稿に限定
  - iPad（1地区10台）と無線LANルーター、WiFiルーター等の器材を無償貸与（現在も継続中）

これまでの取組経過



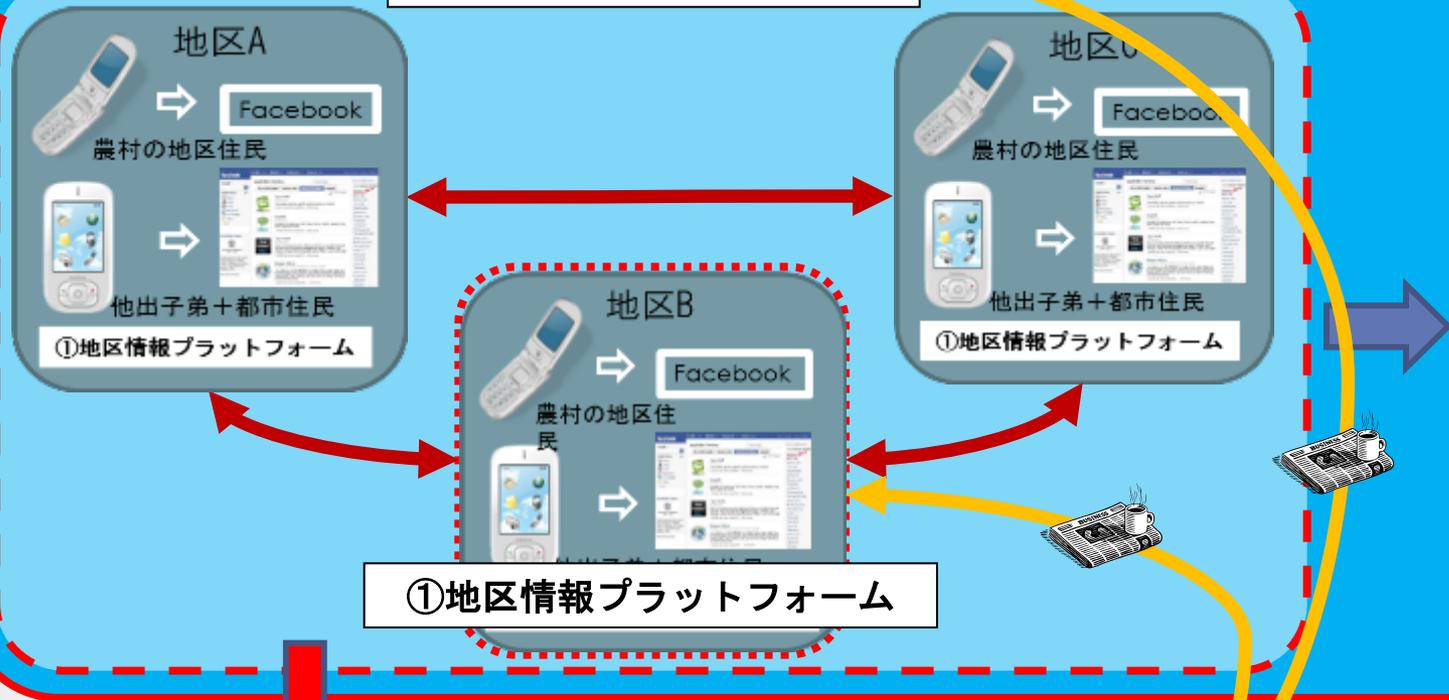
投稿の場	対象とする投稿	下大久保地区	神前地区	五十河地区
①個人プロフィール	個人の投稿	—	—	—
②地域用グループ (メンバー限定)	地域内のメンバー限定	32	35	27
③Facebookページ	地域外に広く発信	63	145	184

2012年9月17日現在

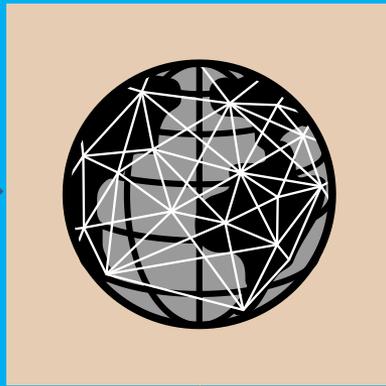
# 多階層連携システムの開発

## ③グローバルプラットフォーム

## ②広域連携プラットフォーム



インターネット



## ①地区情報プラットフォーム

取材 → 編集 → 整形 → 公開

地域内外の住民が情報を自由にFacebook投稿

本システムが投稿情報を自動的に集約・編集

本システムがWebページを作成

特定の場所でWebページを公開

メディアセンターエンジン（投稿情報集約システム）

## 外部③への情報公開

インターネット上で広く一般に地域をPRする

## 地区間②の情報共有

複数地域の情報の相互比較を可能とし、地区間交流を促す

## 地区内①へ情報発信

投稿データを集約して、それぞれの地区メンバーに配信する





SCOPE

検索

キーワード  
検索

トップページへ戻る

カレンダー  
(過去記事)

新聞エリア  
(印刷可能)

年表ページ  
へ

自動作成され  
たキーワード

地域  
ランキング

参加地域の  
地図

地域のこれまでの歩み

# SCOPE

トップページへ戻る

1位をとった記事が表示される



## February 28, 2013 寒かった2月も今日でお終い(神前)

寒かった2月も今日でお終い。3月ってことだけでなんだかWk i としませんか？3月3日はひな祭り。桃の節句。女子の祭り。ですが神前では、1月遅れの4月3日のようです。(2013-02-28)

MARCH 2013  
昨年より一ヶ月程早く(五十河)

FEBRUARY 24, 2013  
シジミスープのラーメンを海鮮丼を売りにした和食屋さんでいただきました(神前)

フキノトウの天ぷら頂きます(神前)	神前地区「いいね(神前)	米粉の投稿に刺激をいただいて(神前)	寒かった2月も今日でお終い(神前)
「速報」おかげで後座コシヒカに引き続き2	寒いですね(神前)	米粉の投稿に刺激をいただいて、米粉マフィンを作りました(神前)	昨年より一ヶ月程早く(五十河)
お茶してます(神前)	黒豆ごはん用の「藤山産小粒の黒豆」というのを(神前)	シジミスープのラーメンを海鮮丼を売りにした和食屋さんでいた	

各地域だけの情報を選択できる

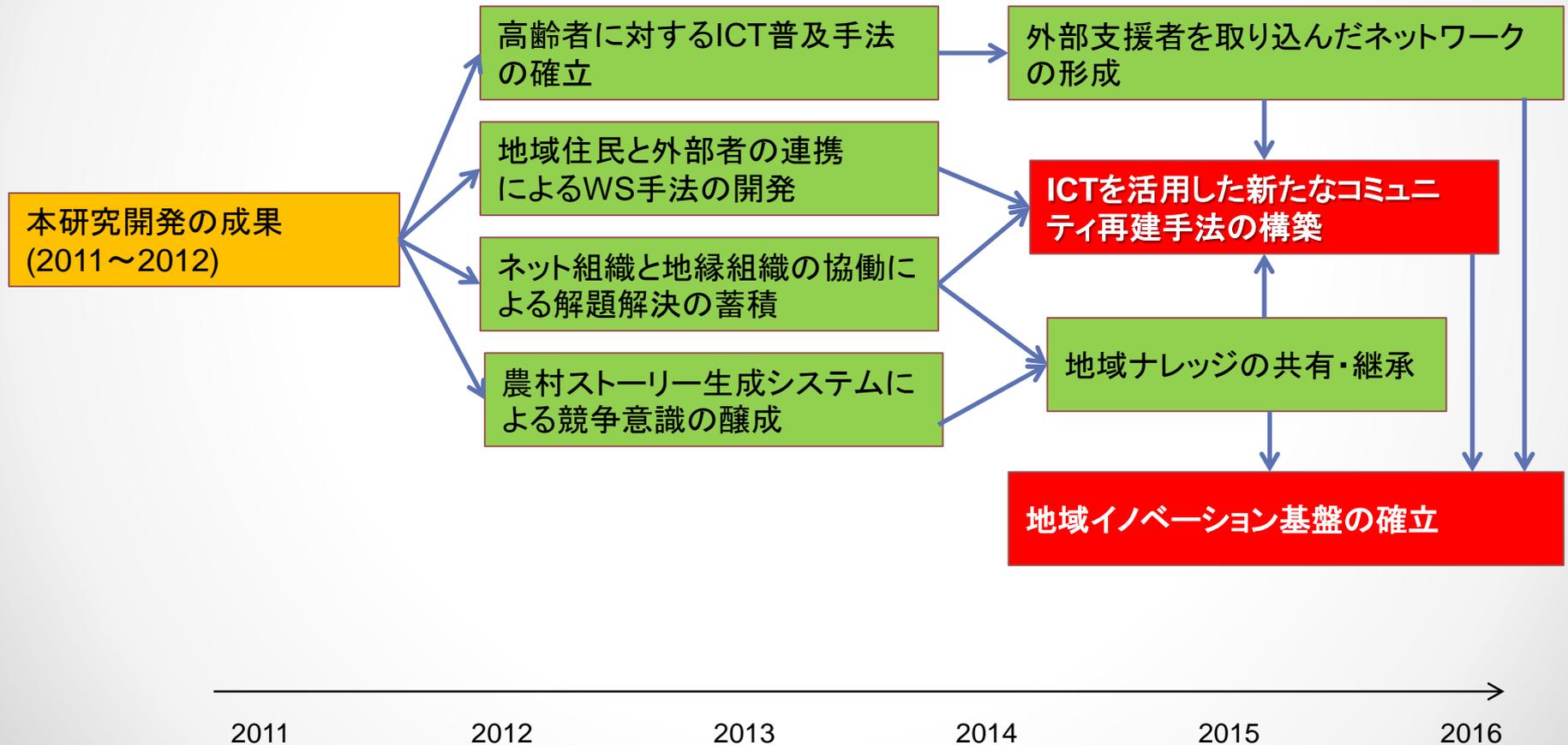
過去の重要記事が年表で表示される

地域を選択して下さい

# SCOPEから得られた知見

- ① 農山村地域は高齢化が進んでいるが、高齢者は地域に関心の強い人が多く、しかも、新しいことに積極的  
→地域コミュニティの再生は、まずは高齢者を元気づけること
- ② 50歳代以下でインターネットを使わないグループは、ネットを理解しているが、関心自体がないグループ。これに対して60歳代以上で未利用者は、教わる機会がないから使わなかったグループ。  
→余暇時間などを考慮すると、60歳代以上の未利用者の方が普及の余地が大きい!  
→ハード整備(ICT情報基盤と端末)のみではなく、ソフトな支援(導入効果の啓発や知識面のバックアップ)が特に重要
- ③ 若干数のキーパーソンがネットワーク構築に大きな力を発揮している。また、キーパーソンは地域内に留まらず、地域外とのネットワークも構築している  
→地域情報化を推進するキーパーソンを育成することが重要  
→一つのプロジェクトの中で多くの地域を扱うことで、一地域内の活力が他地域に波及する可能性
- ④ SNSの利用者は若年層に多く、日常的に多様な交流を楽しんでいるが、「地域に対する関心」が薄い点に課題がある  
● →どのようにして若年層を巻き込んで地域づくりに還元するかが課題

# 新たなコミュニティの再建にむけて 今後の研究展開の方向



# アンケート調査時に住民に配布した啓発用パンフレット

## スコープ(SCOPE)プロジェクト

### 都市住民

人と人との交流を強力にサポートするフェイスブックがインターネットを通じた都市農村交流の機会を提供します

フェイスブックを使って地域の日常を記録・保存することで、地域内での情報の共有化、都市住民への情報発信やコミュニケーションを行うことができます

また、これらの記録を整理・蓄積することで地域の「かたち」を浮き上がらせます



### フェイスブック講習会



### PR活動

地域の新聞やテレビによって広くプロジェクトを知ってもらえます

同じように本プロジェクトに取り組む他地域と交流・連携することができます

### 他地域



地域外に住む家族や親戚

### 地域の魅力



日々のリアルタイムな地域情報を外にいても知ることができます

地域の方向けにフェイスブックの使い方講習会を定期的開催しています

おいしい郷土料理・美しい景観・伝統行事・農作物・個性ある歴史...

地域には日常の中にたくさん魅力が眠っています



地域の誇りや絆の醸成  
地域内外の交流促進

# ご清聴ありがとうございました